

2026年度多職種役割分担推進計画(2025年度の計画振り返りを含む)

計画番号	役割分担業務内容	関連部署	計画担当者	目標達成 年次	2025年度の計画	2025年度の振り返り	2026年度の計画
1	初診時の予診の実施	医局 看護部 視能訓練科 事務職員	加藤部長	実施済 (2026年度 も継続)	アイセーター以外の診療科では看護師が、アイセーターでは視能訓練士が継続して実施する。AI問診は内科での利用を継続する。	初診時の予診は継続して実施できた。内科でのAI問診の利用は月平均100件であった。耳鼻科外来看護師がめまい問診の標準化を図るためリストを作成した。	引き続きアイセーター以外の診療科では看護師が、アイセーターでは視能訓練士が継続して実施する。AI問診は内科での利用を継続する。
2	静脈採血等の実施	医局 看護部 検査科	加藤部長	実施済 (2026年度 も継続)	外来患者に対しては、点滴や静脈注射がない場合、臨床検査技師が継続して実施する。入院患者に対しては看護師が継続して実施する。	継続して実施できた。	引き続き外来患者に対しては、点滴や静脈注射がない場合、臨床検査技師が継続して実施する。入院患者に対しては看護師が継続して実施する。
3	入院の説明の実施	医局 看護部 事務職員	加藤部長	実施済 (2026年度 も継続)	アイセーターでは外来看護師が、アイセーター以外の診療科では患者支援センターのスタッフが入院の説明を継続して実施する。入院時オリエンテーションは、病棟看護師と看護補助者が内容を分担して継続して実施する。	継続して実施できた。全科共通の入院から入院後までのオリエンテーション動画を作成し、病棟内での運用を開始した。	引き続きアイセーターでは外来看護師が、アイセーター以外の診療科では患者支援センターのスタッフが入院の説明を継続して実施する。入院時オリエンテーションは、病棟看護師と看護補助者が内容を分担して継続して実施する。
4	検査手順の説明の実施	医局 看護部 検査科 放射線科 視能訓練科 リハビリ科 事務職員	加藤部長	実施済 (2026年度 も継続)	医師や看護師が検査手順の説明を行っているものを検査ごとに見直し、整理して計画を立てる。必要に応じて各種検査の説明動画を新規作成する。	消化器センターでは診察後の検査手順の説明を看護師からケアメイトへタスクシフトした。ケアメイトの役割は検査の流れの説明に限定し、薬や検査目的などの説明は看護師が行うように範囲を明確にした。	引き続き医師や看護師が検査手順の説明を行っているものを検査ごとに見直し、整理して計画を立てる。必要に応じて各種検査の説明動画を新規作成する。
5	服薬指導	医局 薬剤科	後藤科長	実施済 (2026年度 も継続)	外来患者と入院患者に対して、薬剤師が実施する体制を継続する。ハイリスク薬使用患者への指導件数を増やす。	継続して実施できた。退院時薬剤情報管理指導料の算定件数は平均月16件に増加した。2026年2月から4月の退院患者に対する算定件数は、薬剤総合評価調整加算が26件、退院時薬剤情報管理指導料が98件だった。	引き続き外来患者と入院患者に対して、薬剤師が服薬指導を実施する体制の維持と、薬剤師の病棟業務および退院時指導を継続する。
6	感染リスクの高い患者に対するTPN(中心静脈栄養)の無菌調製	医局 看護部 薬剤科	後藤科長	実施済 (2026年度 も継続)	医師から依頼を受けた患者に対するTPNの無菌調製を継続する。在宅患者のTPNの無菌調製について近隣の調剤薬局と適宜打ち合わせを行う。	医師からの依頼に対して継続して実施できた。近隣の調剤薬局の薬剤師にTPNを必要とする患者の退院前カンファレンスへの参加を打診し、スムーズな情報共有を行うことができた。	引き続き医師から依頼を受けた患者に対するTPNの無菌調製を継続する。在宅患者のTPNの無菌調製について近隣の調剤薬局と適宜打ち合わせを行う。

2026年度多職種役割分担推進計画(2025年度の計画振り返りを含む)

計画番号	役割分担業務内容	関連部署	計画担当者	目標達成 年次	2025年度の計画	2025年度の振り返り	2026年度の計画
7	ICL関連業務におけるタスクシフト	医局 視能訓練科 医療秘書課	楯部長	2026年度	2026年度新規項目	2026年度新規項目	視能訓練士がICL同意書の説明、レンズの計算と発注管理、手術記録録作成などの業務をトータルにサポートする 経過観察患者を含めたICLの年間患者数、ICLの年間手術件数、ICL新規患者に対し視能訓練士がサポートできた件数を算出し評価する。
8	生成AIを用いた診療情報提供書作成のタスクシフト	医局 医療秘書課	岡本課長	2026年度	2026年度新規項目	2026年度新規項目	診療情報提供書作成アプリの開発 診療情報提供書のテンプレートの作成 医療秘書課内でのアプリ活用推進 対象診療科 アイセンター、耳鼻咽喉科、泌尿器科